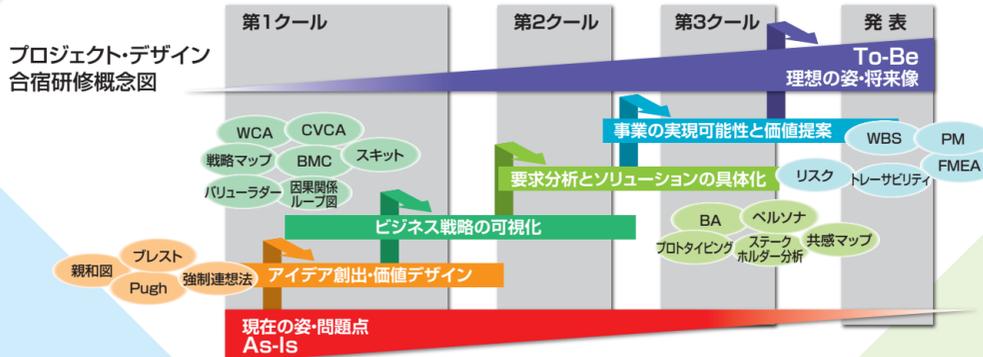


新しい価値を生み出す
熱い2ヶ月間。

協創SDGs



世界中を巻き込んだパンデミック、続く少子高齢化、円安やインバウンドはじめグローバル社会の影響など、日本社会やビジネスのあり方が大きく変わっていくとする今、従来とは違った視点からイノベーションを生み出すスキルが重要となっています。

本研修は、複雑な社会の問題に対してイノベティブな新規事業アイデアを創出するプログラムとして、毎年改善を繰り返しながら、本年度16回を迎えます。デザイン思考のほか、SDM研究科で教育している理論やツールを用いながら、戦略に基づく新規事業プロジェクトのデザインを、上流から具体的な要求分析まで一気通貫したテーマで構成されたSDMならではのカリキュラムです。DX化やSDGs、社会システムの提案などもとりいれながら、これからの日本社会や世界に通用するビジネスモデルを協創しています。

本年度は、「ウェルビーイング」をテーマに、従来の合宿とオンラインをとりまぜた構成に加え、講義の一部をオンデマンドビデオ視聴にすることで、従来はライブ参加を求めている拘束時間を減らし、より受講しやすいカリキュラムとしました。また、従来受講が確定する前に進んでいた事前操作説明会は、受講確定者を対象とした事前課題説明会とし、研修実施前からオンデマンドビデオ視聴ができるようにし、更にフレキシブルに学習していただけるよう設計しました。

研修期間中の、第1クールは、慶應SDMのある日吉協生館での合宿研修です。デザイン思考を中心に、様々な立場での視点を交換し相乗効果の期待ができるグループワーク中心の構成としています。第2・第3クールでは、

グループ共同作業ツールを利用したオンライン研修を行い、第4クールである最終日に行う大ホールにての発表を目指して、ビジネスモデルを精緻化していく構成です。研修日程のインターバル期間中も、共同作業ツールの利用や、講師陣とゼミ形式で直接議論できるオフィスアワーの開催により支援します。また、過去の修了者によるメンターとしての参画、SDM学生による操作サポートなどにより、充実した研修となるようカリキュラムを構成しています。

新しい研究成果やトレンドツールをとりいれたSDM教授陣による講義およびワークショップの他、過去この研修を修了された方に活用実績をご紹介いただくパネルディスカッションなど、研修の成果を実際に組織に適用するための構成は例年のとおりです。

普段の業務で出会うことのない異業種のメンバーたちとグループワークを行うアクティブラーニングによって、新たな視点や気づきを得ながら学びを進めます。この研修で出会ったメンバーたちが、修了後も継続して自主的にイノベーションプロジェクトに取り組むほどの良い仲間づくりになっており、研修期間だけでなく、長期にわたる人間関係のネットワーク構築のために本研修をご利用いただいているようです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

なお、開講日以外にも各クール間にグループ課題が出されますので、開催期間全体にわたって本研修に多くの時間を割いていただくこととなります。予めご理解のうえご参加ください。

大塚 有希子 当麻 哲哉

コンサルタント、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 非常勤講師。法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 准教授。博士(SDM学)、PMP、CBAP、ITC-インストラクター、1級FP

経済産業省、中小企業庁からの優秀案件採択、優秀アドバイザー表彰など。金融機関人事部門、戦略企画部門を経て、現在はコンサルタントとして、戦略・マネジメントに関する人材開発、制度設計のコンサルティングを行いながら、社会人大学院にて教育・研究指導等。慶應SDM研究所の「ビジネスデザイン×プロジェクトマネジメントラボ」代表。PMP®資格受験対策講座も担当。本研修についてセミナーコーディネーターを務める。



大塚 有希子
Yukiko Otsuka

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授、SDM研究所 マネジメントデザインセンター 代表、博士(システムデザイン・マネジメント学)、PMP

1988年3MIに入社、製品開発スペシャリストとして日米両国で約20年間、新製品をグローバル市場に導入、2008年より大学教員、現在に至る。PMI本部GAC (PM教育プログラム国際認証機関)ディレクター、日本プロジェクトマネジメント協会 (PMAJ) 理事。2019~2020年にはマサチューセッツ工科大学訪問研究員の経験あり。著書に「グローバルプロジェクトチームのまとめ方:リーダーシップの新たな挑戦」(監訳、慶應義塾大学出版会)がある。



当麻 哲哉
Tetsuya Toma

第16回 2024 プロジェクト・デザイン 合宿研修



全てのカリキュラムを修了された方には、最終日に「修了証書」をお渡します。ご希望の方には最大70PDU (Education; Business acumen 39 / Way of working 16 / Power Skills 15) の受講証明、最大16ポイントのITCポイント付与証明を発行します。また、カテゴリー-2Bで最大39CDU自己申請することができます。

● 申込方法
WEBサイトよりお申込ください。
<https://www.sdm.keio.ac.jp/2024/06/03-100000.html>

協生館宿泊施設

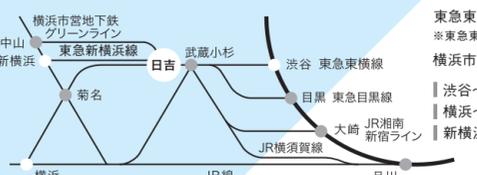
第1、第4クールは合宿形式セミナーのため、9月17日(火)、18日(水)、11月17日(日)は原則として全員、協生館内の研修宿泊施設へ宿泊していただきます。ご希望の方は前後泊も可能です。



システムデザイン・マネジメント研究所 (SDM研究所) とは?

SDM研究所は、企業をはじめ社会のあらゆる組織におけるシステムデザイン・マネジメントの理解とマネジメント能力の向上のため先端的研究・教育を行い、広く社会の発展に寄与することを目的として2008年に開設された研究科附属の研究所です。公開講座・講演会・セミナー等の開催ならびに講師派遣、システムデザイン・マネジメントに関する研究調査、外部機関との研究プロジェクトの推進、国際機関・世界各地の大学および研究機関との協力・提携ならびに交流などの事業を行っています。

● 交通アクセス



東急東横線、東急目黒線、東急新横浜線
※東急東横線の特急は日吉駅に停車しません。
横浜市営地下鉄グリーンライン
| 渋谷～日吉: 急行18分 (通勤特急16分)
| 横浜～日吉: 急行12分 (通勤特急10分)
| 新横浜～日吉: 7分

日吉駅直結

● お問合せ先

慶應義塾大学
日吉学生部 SDM担当
〒223-8526 横浜市港北区日吉4-1-1 協生館2F
Tel: 045-564-2518 Email: sdm@info.keio.ac.jp

<http://www.sdm.keio.ac.jp/>

SDM

System Design and Management

2024 9.17(火) → 9.19(木)
10. 1(火)・10. 2(水)
10.29(火)・10.30(水)
11.17(日)・11.18(月)
計9日間

第16回 2024 プロジェクト・デザイン 合宿研修

「システム×デザイン思考」を実践に生かす



生き残る 協創戦略

【後援団体】



一般社団法人 PMI日本支部



一般社団法人 IIBA日本支部



一般財団法人 エンジニアリング協会



特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会



特定非営利活動法人
日本プロジェクトマネジメント協会

【主催】



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属
システムデザイン・マネジメント研究所マネジメントデザインセンター

合宿研修 スケジュール

※オフィス・アワーは質疑応答や情報共有の場(任意参加)です

1日目 9/17 火	2日目 9/18 水	3日目 9/19 木
10:30-12:15 事前課題説明会	10:30-12:15 事前課題説明会	10:30-12:15 事前課題説明会
13:15-14:45 事前課題説明会	13:15-14:45 事前課題説明会	13:15-14:45 事前課題説明会
15:00-16:30 オンライン	15:00-16:30 オンライン	15:00-16:30 オンライン
16:45-18:15 19時30分〜21時	16:45-18:15 19時30分〜21時	16:45-18:15 19時30分〜21時
19:30-21:00	19:30-21:00	19:30-21:00

第2クール オンライン 研修

4日目 10/1 火	5日目 10/2 水
10:30-12:15 事前課題説明会	10:30-12:15 事前課題説明会
13:15-14:45 事前課題説明会	13:15-14:45 事前課題説明会
15:00-16:30 オンライン	15:00-16:30 オンライン
16:45-18:15 19時30分〜21時	16:45-18:15 19時30分〜21時
19:30-21:00	19:30-21:00

第3クール オンライン 研修

6日目 10/29 火	7日目 10/30 水
10:30-12:15 事前課題説明会	10:30-12:15 事前課題説明会
13:15-14:45 事前課題説明会	13:15-14:45 事前課題説明会
15:00-16:30 オンライン	15:00-16:30 オンライン
16:45-18:15 19時30分〜21時	16:45-18:15 19時30分〜21時
19:30-21:00	19:30-21:00

第4クール 集合研修(合宿)

8日目 11/17 日	9日目 11/18 月
10:30-12:15 事前課題説明会	10:30-12:15 事前課題説明会
13:15-14:45 事前課題説明会	13:15-14:45 事前課題説明会
15:00-16:30 オンライン	15:00-16:30 オンライン
16:45-18:15 19時30分〜21時	16:45-18:15 19時30分〜21時
19:30-21:00	19:30-21:00

受講者のコメント

山口 正展
株式会社JCB (第13回参加者)

デザイン思考を謳った研修は数多あれど、システム思考を掛け合わせアイデア創出からビジネスモデル策定に至るまでを一貫して学べるのは、本研修が唯一だと思います。多様なメンバーと熱い議論や試行錯誤を重ねて協創していくプロセスは、大変刺激的であり知的興奮に満ちたものでした。

石田 直之
朝日放送グループホールディングス 株式会社 (第13回参加者)

イノベーション創出のための思考方法を講義で学び、チームメンバーとの連日連夜のグループワークで学んだことを身につけることができたと感じています。寝ても覚めても研修課題のことが頭を離れないほど濃密で刺激的な2か月間でした。

陳 文傑
株式会社 野村総合研究所 (第14回参加者)

実践を通してイノベーション創出手法を学習するよい機会だと思います。2ヶ月間の試行錯誤を重ねて世の中の当たり前を疑う習慣を身につけることができました。そして、多様な受講生と本音で議論することで貴重な仲間ができました。

小松 明子
株式会社 JALエンジニアリング (第14回参加者)

業種、業界を越えた多様な価値観のもと、チームで議論を重ねて導き出したビジネスモデルの構築は貴重な経験となりました。そして、試行錯誤の中、先生方、フェロー、メンターから頂いた助言は今もチームの財産となっています。

北 大樹
株式会社SUBARU (第15回参加者)

全く異なる業種の方々と「脳みそフル回転」で課題に取り組むことで、新たな思考回路を構築するだけでなく、これからの支え合う仲間が増える刺激的な3カ月を経験出来ました。研修後も仲間と交流し、学び続けられる貴重な研修です。

武井 森
株式会社アデコ (第15回参加者)

新しいアイデア・イノベーションを生み出す難しさ、それをビジネスという形にする難しさ。この異なる二つの要素を同時に学べる非常に意義のある研修でした。また、講義と受講者間の協業による学び、リアルとリモートを組み合わせなど、継続して学び続けられる仕掛けがあり、今までの研修にはないほど自発的に学べたと思います。

磯田 絵里香
横浜市 (第15回参加者)

SDMの学びが凝縮された濃厚な3か月でした。先生やメンターの方々の丁寧なサポートのもと、多様でモチベーションの高いメンバーと、何度も壁にぶつかりながら協働した実践経験は、単なる理解に留まらず、知識と仲間を体得できる貴重な機会になりました。

武田 佳祐
リコージャパン株式会社 (第15回参加者)

新たな人生が動き出す!未来を切り拓く力を養う時間
100年先を見越した俯瞰的問題意識を持ち、創造的にデザインし新しいアイデアを生み出す力が身に着きます。本音でぶつかり研鑽し合える仲間との出逢いも人生の宝物!

講師プロフィール

白坂 成功
Seiko Shirasaka

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科委員長 教授 博士(システムエンジニアリング学)

三菱電機(株)を経て現職。専門分野は、イノベーション創出にむけた新価値創造方法論であるシステムxデザイン思考や、システムズエンジニアリング。2015~2019年、内閣府革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)のプログラムマネージャーとしてSAR衛星を開発。現在は情報処理振興機構デジタルアーキテクチャ・デザインセンター有識者会議座長、(一社)スマートシティ・インスティテュート エグゼクティブアドバイザー、内閣府宇宙政策委員、経済産業省グリーンイノベーションプロジェクト部WG3座長などを兼任。

米澤 創一
Soichi Yonezawa

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特別招聘 教授 プロジェクトマネジメント/人材育成コンサルタント、プロフェッショナルメンター、投資家

元アクセンチュア株式会社マネージングディレクター。約27年のアクセンチュアのキャリアでは、プロジェクトマネジメントグループ統括、SAPプラットフォーム統括、教育責任者、品質管理責任者、などを歴任。2008年の慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科設立時から教鞭をとっている。専門分野はプロジェクトマネジメント、本質思考・本質把握力、人材育成、組織運営、リーダーシップなど。著書「プロジェクトマネジメントの生活的システム」(日経BP)、「本質思考トレーニング」(日本経済新聞出版社)

西村 秀和
Hidekazu Nishimura

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 工学博士

モデルベースシステムズエンジニアリング、システム安全、デジタルトランスフォーメーションなどの教育・研究に従事。現在、慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科委員長/教授、一般社団法人JCOSE 代表理事、日本機械学会フェロー、JST特任フェロー。著書:システムズエンジニアリングハンドブック第4版(監訳)、システムズモデリング言語SysML(監訳)など。担当授業科目に「ビジネスプロセスのモデリングとマネジメント」などがある。

長谷川 廣明
Hiroaki Hasegawa

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 非常勤講師 特任助教(予定) リコージャパン(株)人財本部 シニアスペシャリスト

慶應義塾大学SDM研究科でシステムエンジニアリングを履修後、人材育成と事業開発を同時に行うメソッドの研究・開発を行う。現在は、SDM序論の非常勤講師として教育に従事。また、株式会社リコーで長年基幹システムの要求開発を担当し、SDM学を活用した事業開発型の人材育成プログラムを展開。その後、リコージャパンデジタルアカデミーを創設。人材開発戦略を担当している。

濱 久人
Hisato Hama

株式会社彩成コンサルティング代表取締役 PMAJ研修委員会委員、東洋大学非常勤講師

建設コンサルタントで都市計画、交通計画のプロジェクトを担当。その後パナソニック株式会社のシステムソリューション部門及び人材開発部門にて、システム開発部門のSE及びPMとして、各種プロジェクトを担当。さらにNTTデータの研修機関である株式会社NTTデータユニバーシティを経て、現在は株式会社彩成コンサルティングを設立。専門はプロジェクトマネジメント・事業戦略・人材育成など。事業戦略・プログラム&プロジェクトマネジメント・パーソナルスキルなどの研修を推進中。

都丸 孝之
Takayuki Tomaru

法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任教授 博士(システムエンジニアリング学)

富士ゼロックス株式会社、城西国際大学大学院を経て現職。米スタンフォード大学にて顧客価値分析を活用した事業創出および製品企画プログラムに参画。現在は、大学や企業にて地域創生をテーマにしたPBLおよび顧客価値分析手法を用いた事業創出プログラムを展開。企業の人材育成プログラム、管理職研修、ビジネスゲーム研修、企業・自治体向け講演など多数。慶應義塾大学大学院経営管理研究科 非常勤講師も兼任。著書「働きながらでも博士号はとれる(研究社、2014)」など。

前野 隆司
Takashi Maeno

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 兼 武蔵野大学ウェルビーイング学部 学部長 教授 博士(工学)

キヤノン株式会社、カリフォルニア大学バークレー校訪問研究員、ハーバード大学訪問教授、慶應義塾大学理工学部教授を経て現職。著書:「ディストピア禍の新・幸福論」(プレジデント社、2022)「ウェルビーイング」(日経文庫、2022)、「幸せな職場の経営学」(小学館、2019)、「幸福学×経営学」(内外出版社、2018)、「幸せのメカニズム」(講談社、2013)、「思考脳力のつくり方」(角川新書、2010)、「脳はなぜ「心」を作ったのか」(ちくま文庫、2010)など多数。

過去の受講者 ●総受講者数303名(第5回~第15回) 男性:女性 = 270:33

役職別内訳	人数
一般	61
課長級	54
課長代理級	35
主任級	28
部長以上	26
係長級	23
シニアスペシャリスト	13
副部長	12
プロジェクトマネージャー	11
グループ長	10

業種別内訳

業種	人数
コンサルティング	33
情報通信	30
業務用機器	29
自動車・輸送機器	28
ITシステム	22
重工業	22
機械・自動車部品	21
空運・陸運・海運	19
金融	18
行政・公共団体	17